

なんもく 山村ぐらし通信

大千原橋

(左)

特集 タイムマシーンなんもく号

大千原橋の今昔です。この橋は、昭和28年の竣工から今日まで67年ほど、この場所での人の往來を支えてきました。しかし、老朽化により今は通行止になっています。近いうちに取り壊しも決まっています。

と、多くの車や人々が橋を渡った情景が想像されます。親の手を引かれたり、通学班でぞろぞろ渡ったり、友達とふざけあって渡った子どももいたかもしれません。そんな賑やかな声が聞こえてきそうです。私も、車でこの橋を渡ることは何度もありましたが、そのたびに車を欄干にぶつけないか、ひやひやしたものです。実際は大丈夫なんですけどね。今は隣に大きな「新千原橋」が掛かっています。ハンドルを握ればよそ見ができないので、この大千原橋が視界に入ることなど稀ですが、まぎれもなく、南牧村を支えてきた建造物の一

つだと思っています。南牧川に掛かるこの橋の勇姿は、景色と相まっていいものです。金田寄稿)

雨沢地区

(下)

この古い写真は、昭和40年〜50年代に、雨沢地区の忠霊塔から少し登った斜面で、磐戸方面に向かい撮られたようです。新しい写真は、古い写真との比較のために、今年7月に撮影したものです。

新旧の写真を比べて見ると、はじめに目に付くのは、山の斜面に広がっていた段々畑。今では木が生い茂ってしまい面影を感じませんが、コンニャク栽培でもさ



竣工当時の大千原橋 (昭和28年撮影)



現在の大千原橋



雨沢から磐戸方面を望む (昭和40-50年代に撮影)



現在の風景 左下は住民センター (旧信用組合)

2021(令和3)年8月発行
通巻第36号版 (夏季号)

発行責任者・発行元：
南牧山村ぐらし支援協議会
問合せ：南牧村役場
村づくり・雇用推進課
協議会事務局
電話：0274-87-2011(代)
紙面編集：松林・高柳



協議会QRコード

協議会HP
<https://nanmoku.org/>
活動内容や各種情報を
随時更新中！

【R3年度1~6月
空き家問合せ件数】

電話：33件
(1月 1件)
(2月 2件)
(3月 9件)
(4月 11件)
(5月 7件)
(6月 3件)

メール・手紙等：59件
(1月 10件)
(2月 18件)
(3月 12件)
(4月 8件)
(5月 6件)
(6月 5件)

現地物件見学：12件
(1-2月 0件)
(3月 5件)
(4月 5件)
(5月 1件)
(6月 2件)

【協議会ウェブサイト
訪問・閲覧状況報告】
1/23-7/21 (約180日)

ページ閲覧数 116,870
サイト訪問数 12,948
サイト訪問者数 8,543
平均ページ閲覧数
1訪問当たり9ページ

空き家の情報を提供願います

現在、南牧村の人口は減り続けています。2000年に約3300人いた人口は本年7月時点で約1680人、20年間でも減少は続くでしょう。そうした中で、近年、村外からの移住者が少しずつ増えています。南牧山村ぐらし支援協議会では、村民からいただいた空き家情報を、移住希望者に紹介しています。しかし、現在、紹介できる空き家が不足しています。ぜひ、空き家の情報を提供に協力願います。また、次の場合には村役場へご相談下さい。

荷物が多く残っている

まずは村にご相談ください。片付け・処分方法を共に検討します。

空き家がかなりの傷んでいる

基本は現状で紹介し、補修や改修等は、借主の負担で行います。

賃貸や売買の契約手続がわからない

契約に関する相談・手続きは、役場担当課の職員が丁寧に説明します。

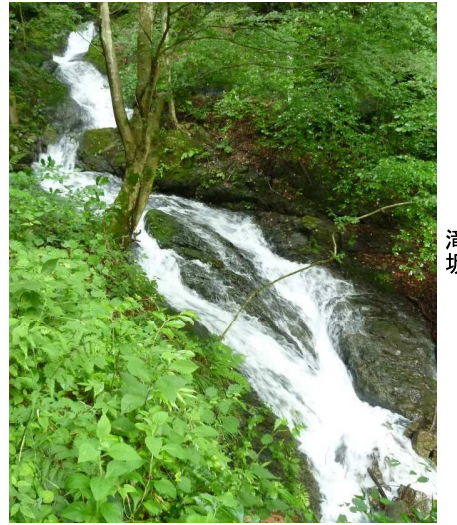
情報提供・相談窓口

南牧村役場 村づくり・雇用推進課 担当：高柳
0274-87-2011
(代表)

ぶらりなんもく

村内の滝を巡って

南牧には滝が数多くあります。かくいう自分は三名瀑すら行ったことがありませんでした。話には聞いていても行く機会に恵まれなかったのです。でも、滝めぐりに行きたいという話を聞いたので、これはチャンスと思いい緒に巡ってみました。奥深いところはまだ回れていませんが、この郷土の面白さを体験しました。

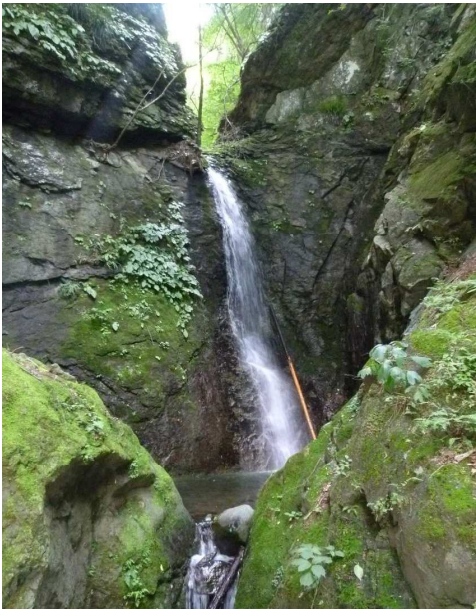


滝坂

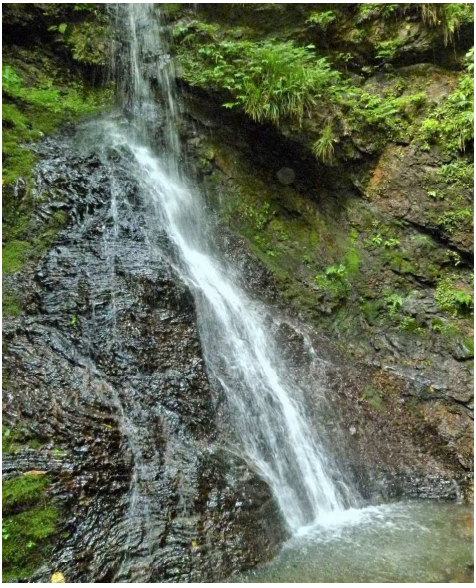
滝めぐりをしたのは今から7〜8年前ですが、その感想を言ってしまうと、思った以上の手軽さに驚いたことですかね。装備はそれなりにしましたが、不足を感じたときは引き返しました。車道から見えるものや少し分け入るくらいのもので、本当にお手軽でした。一日に数か所の滝を見て回れるのも魅力の一つかと思

います。心に残った滝が幾つかあります。

滝めぐりをしたのとは今から7〜8年前ですが、その感想を言ってしまうと、思った以上の手軽さに驚いたことですかね。装備はそれなりにしましたが、不足を感じたときは引き返しました。車道から見えるものや少し分け入るくらいのもので、本当にお手軽でした。一日に数か所の滝を見て回れるのも魅力の一つかと思



おしん淵の滝



矢玉の滝

金田寄稿

南牧古民家暮らしの声

移住者へのインタビュー

今回、南牧村に移住し古民家暮らしをされている方の声を届けたいと思い、村にきて1年が過ぎた方に取材をさせていただきまし

古民家に、住んでみて良いなと思ったところは？

では反対に住んでみて大変だな、改善したいなと思うところはありますか？

まずは南牧村に住んでみての感想はいかがですか？

家自体が大きく、昔の家で台所が大きいところがい

家も古くて不便なところもありですが、それを自分で解決しながら生活を楽しめるようになりました。また南牧にきて山菜をとった

野菜をもらったり雪かきをしたりと、都会にはないご近所付き合いがあり、それが楽しくできると暮らしがより豊かになると感じました。また移住する前から覚悟していたのでそこまで

家が広いので友人をもっと招きたいのですが、このご時世で出来ないのがもったいないです。あと立地と眺めがいいところですね。私が住んでいるところからは眺めがよく南牧の山がきれいにみえます。庭も広く使えるので焚火をしながらお酒をのんだり、近くに外灯がないからキレイな星を見ながらくつろげるのも気分がいいですね。

お話を聞いてみて南牧での暮らしは、多少の不便さはあるようですが、自分で生活環境を創りあげていくことを楽しんでいました。こういう意見は、南牧での暮らしの魅力再発見につながるのではと思います。現場か

コロナ禍における移住施策

いまだ先の見えない新型コロナウイルス感染症による社会の変化は、移住施策にも大きな影響を及ぼしています。相談件数について

移住希望者から寄せられた相談内容では、仕事がテレワーク中心となって都市部

が必要になってきます。また、山村の大きな魅力である人付き合いについても集まる機会が減るなど変化しているのではないのでしょうか。特にお酒を酌み交わしての交流はコロナ禍前

は令和元年度が199件だったのに対し昨年度は213件と増加しました。活動が

が大きい制限されていたことを思えば、山村移住への関心は大きく高まっているといえるのではないのでしょうか。

が現実的な選択肢として出ても事実ですので慎重な対応

事務局寄稿